



第5回

横浜・人・まち・デザイン賞

「受賞活動・受賞景観集」



2011

地域まちづくり部門

自ら主体となって創意工夫し、地域まちづくりを推進している活動

まちなみ景観部門

地域の個性と魅力をつくりだしているまちなみや建築物等



横浜・人・まち・デザイン賞について

■表彰目的

横浜での、地域まちづくりに関して特に著しい功績のあった活動や、都市景観の創造や保全に寄与したまちなみを構成する建築物等を顕彰して、魅力のあるまちづくりをより広くすすめていくことを目的としています。

■選考基準

地域まちづくり部門

横浜市内における地域まちづくりの主体である団体で、おおむね3年以上の取組実績があることを対象としています。また、表彰対象の活動を支援した個人または団体も表彰します。

- 1) 公共性（地域社会への貢献）が評価されるもの
- 2) 積極性が評価されるもの
- 3) 地域住民等の幅広い参加や他団体との連携が評価されるもの
- 4) 今後の活動の継続性・発展性が評価されるもの
- 5) 創意工夫が評価されるもの

まちなみ景観部門

横浜市内の「まちなみ」や「建築物等」で、おおむね10年以内に新しく造られたものや、歴史的建造物等再生されたものを対象としています。

- 1) 地域の個性と魅力にあふれた新しい都市景観の創造に寄与しているもの
- 2) まちの活性化に寄与し、賑わいのある都市景観を形成しているもの
- 3) 歴史的なまちなみ、及び自然景観の保全に寄与し、又はそれらと調和を保っているもの
- 4) 横浜らしさの演出に寄与しているもの
- 5) 都市景観と環境や福祉への配慮などの先進的な取り組みが調和しているもの

■今回の応募状況

募集方法 募集ポスターを市内公共施設等で掲示／募集要項を区役所、地区センター等で配布

応募状況 地域まちづくり部門：42通（40件）／まちなみ景観部門：89通（68件）

■募集及び選考過程について

地域まちづくり部門



まちなみ景観部門



■審査委員一覧

【地域まちづくり部門】

横浜市地域まちづくり推進委員会
表彰部会委員名簿

高見沢 実
横浜国立大学大学院教授
佐谷 和江
株式会社 計画技術研究所代表取締役
並木 直美
株式会社 並木設計代表取締役
山田 浩和
市民委員
吉田 洋子
吉田洋子まちづくり計画室

【まちなみ景観部門】

横浜市都市美対策審議会名簿

岩田 武司
横浜弁護士会 弁護士
卯月 盛夫
早稲田大学教授
加藤 仁美
東海大学教授
金子 修司
横浜商工会議所
佐々木 葉
早稲田大学教授
高橋 晶子
武蔵野美術大学教授
中津 秀之
関東学院大学准教授

選考時委員 5名

篠崎 次男
市民委員
宮崎 郁子
市民委員
岩村 和夫
東京都市大学・大学院教授
山崎 洋子
作家
吉田 鋼市
横浜国立大学大学院教授

新委員 7名

鈴木 智恵子
エッセイスト
関 和明
関東学院大学教授
竹谷 康生
市民委員
西村 幸夫
東京大学教授
野原 卓
横浜国立大学大学院准教授
六川 勝仁
市民委員
国吉 直行
横浜市立大学特別契約教授

「横浜って魅力的なまち」。喜ばしいことに、横浜はそのように表現されることがあります。魅力的なまちをつくり上げているのは、横浜の特徴である活発な市民活動や、良好な景観にほかなりません。

3日住めばハマっ子とも言われるように、誰でも受け入れる開放的な市民気質によって、さまざまな人や団体同士がつながり合い、大きなうねりとなって、市民主体の日々のまちづくりに表れています。そして、美しい自然環境や港町の歴史を背景として、魅力的なまちが作り上げられています。今回、「横浜・人・まち・デザイン賞」として表彰された方々の、まちづくり活動や景観づくりは、まさにこの実践例です。その功績が多くの方に伝えられ、皆様が横浜の魅力に誇りを持ち、安心と活力ある将来へのまちづくりが一層進むことを願っています。



平成23年8月 横浜市長 林 文子

第5回 横浜・人・まち・デザイン賞の選考にあたって

横浜・人・まち・デザイン賞は、地域まちづくりを推進している活動とそれを支援する団体または個人や、優れた景観をかたちづけている「まちなみ」や「建築物等」を表彰する、まちづくりに関する賞です。地域まちづくり活動とまちなみ景観について優れた事例を広く市民の方々から推薦していただくのが特徴です。地域まちづくり推進委員会表彰部会と都市美対策審議会は、それらを審査し、賞を選考する作業にあたっています。

【地域まちづくり部門】

今回の地域まちづくり部門には、前回は上回る42通の応募があり、「公共性、積極性、地域住民等の幅広い参加や他団体との連携、今後の活動の継続性・発展性、創意工夫」の5つの選考基準で各委員が評価したものを持ち寄り、審査委員の合議により、6件の活動を受賞対象活動として選定いたしました。今回の応募では、前回に続き自然環境の保全に関する活動や地域活性化に関する活動の応募が多くありましたが、その中で、今回の応募の特徴としては、子育てに関する活動が目立ったことがあげられます。少子高齢化の進捗中、子育てしやすい環境作りなどが、行政の施策だけでなく市民活動においても盛んになってきていることの現われかもしれません。また、横浜を代表する活動歴の長い団体についても応募が複数ありました。このように、層も厚く多様な活動の中から選定された6件の活動は、いろいろな意味で横浜が誇れる活動だと思います。

今回は惜しくも表彰を見送ることとなった団体の中にも、今後の発展を期待させるすばらしい活動がいくつもありました。今後の活動に期待したいと思います。

横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会長 高見沢 実

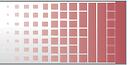
【まちなみ景観部門】

第5回となった横浜・人・まちデザイン賞のまちなみ景観部門は応募要件に合った自薦他薦の68件が審査の対象となりました。前回の55件を上回る応募をいただきました事に感謝申し上げます。応募内容は商業、業務、教育、歴史的建造物、自然系の空間など多岐にわたり、場所も市内中心部にやや偏在していましたが市内一円から寄せられました。

一次審査は審査員に事前に配布された予備選考用の調査票をもとに推薦をし、得票を集計しました。また委員の希望により現地調査も実施し、候補を選定して得票数の多かったもの、特に推薦すべきと思われるもの等を委員の合議で論議を重ねて6作品を受賞推薦候補としました。そして横浜市都市美対策審議会で審議、承認を受けて受賞が決定したものです。

応募いただいた全ての物件は横浜の街の魅力を高め、個性豊かな地域の魅力を造りだしている素晴らしい舞台装置です。これからも横浜・人・まちデザイン賞にさらに多くの皆様が応募してくださる事を期待いたしております。

横浜市都市美対策審議会表彰広報部会長 金子 修司



鴨居原市民の森を 憩いの森にする活動

活動概要

多くの地域住民の協力も得て、粗大ゴミが散乱していた森の清掃活動に取り組んでいます。また、みんなが森に興味を持ち憩いの場と感じてもらえるよう、森でのイベントの企画、校外授業の受け入れ、森を守るための消防訓練など、積極的に行っています。

表彰理由

鴨居原市民の森は、横浜の中でも貴重な自然が残された場所のひとつであるにも関わらず、古タイヤなどの産業廃棄物や粗大ゴミが散乱している場所であった。このような荒廃した場所を、地域住民の力でクリーンアップ作戦を行い、多量なゴミを撤去し、美しい森に再生してきた。具体的には自治会が中心となり、まちづくり活動団体、小中学校とも連携し、子どもたちの協力も得て、7年にわたり地道に活動を続けてきたことは高く評価できる。

活動場所 鴨居原市民の森(緑区)

活動団体 鴨居原市民の森愛護会

活動団体ホームページ <http://www.kamoihara.org/>

活動を支援した個人又は団体 吉武美保子
(特定非営利活動法人よこはま里山研究所)



▲森の道づくり



▲子どもたちが作った大竹飾り

野毛大道芸でまちおこし

活動概要

「野毛大道芸」は、春と秋の年2回開催し、全国各地から約20万人が来場する、地域の代名詞となる一大イベントです。以前の賑わいを失いつつあったまちの活性化・地域の振興を目的として、25年に渡り実施しています。町内会、婦人部、商店街及び学生ボランティアが一丸となって、手作りで企画・運営を進めています。

表彰理由

世代交代を図りながら25年に渡り継続し、業者に頼らず自分達でイベントを創り出す獨創性がある。そして、まちづくり会・小学校・芸人・商店街など、関わる全ての人たちとの調和を大切にし、感謝の心を忘れない精神がまちの魅力となり、全国から人を惹き付けるエネルギーとなっている。「継続することが支援してくれる人たちへの恩返し」という信念を守り続け、末永い継続、そして益々の発展に期待する。

活動場所 中区野毛町一帯

活動団体 野毛大道芸実行委員会

活動団体ホームページ <http://www.noge-net.com/daidoge>



▲大観衆を前にしてのパフォーマンス



▲大道芸を支える多くのスタッフたち

助け合いの精神で港南エリアを中心とした住民生活をサポート

活動概要

「困ったときはお互いさま」という助け合いの精神で、在宅支援や子育て支援をはじめとした地域住民の暮らしを支える活動を行っています。また誰もが気軽に集える地域の居場所、よろず相談所としての役割も担っています。

表彰理由

2010年に設立10年となり、会員は300名を超え、地域での認知度も高い。介護保険や児童相談などの制度のすき間や枠外で困っている人たちは多く、どの地域でも支援する組織や場所の必要性は感じているが、なかなか実現できていない。このような中、明るく、やわらかく、形式化せずに心のこもった運営をしている実績を高く評価したい。また、市の助成制度によるリフト等の整備や、防災への取り組み、区民活動支援センターのランチを担うなど、新たな事業にも積極的に取り組んでいる。

活動場所 港南区日限山1丁目など

活動団体 さわやか港南

活動団体ホームページ <http://sawayakakounan.madachi.com/index.html>



▲地域の子どもたちと安心安全のまち歩き活動



▲地域の方を集めて施設内でコンサートを開催

つづきのみんなで元気なまちづくり

活動概要

都筑区を中心に、環境にやさしいまちづくり、災害に強い青少年の育成など、まちが元気になるよう、様々な視点からアイデアのつまったまちづくりをしています。みんなと一緒に考えるまちづくりをテーマに、地域住民、企業、行政と協働で活動に取り組んでいます。

表彰理由

市民活動から始まった組織であるが、現在はソーシャル・ビジネスへと活動の幅を広げており、その企画力や実行力を評価する。また、市内の同様な団体や企業と連携しながら、ソーシャル・ビジネスの発展を牽引している。初期の2003年のモザイク壁画プロジェクトから寄付を募るソーシャル・ビジネス・マインドがあり、それがその後の小規模福祉作業所等の商品の通販サイト「横濱良品館」や、テレワーク支援などにつながっており、今後の展開が期待される。

活動場所 都筑区全域

活動団体 特定非営利活動法人 I Love つづき

活動団体ホームページ <http://webtown-yokohama.com/ilt/>

活動を支援した個人又は団体 京都市大学



▲子どもの防災意識を高めるイベント「サバイバルジュニア」



▲京都市大学生と連携する、ITを活用したイベントの様子

山下公園のコンビニエンスストアで 子育て支援活動

活動概要

多くの親子連れが集まる山下公園で、子育て支援活動の拠点として、お母さんをサポートする商品や環境を整えた店舗づくりをしています。また、親子で楽しめるイベントを企画し、山下公園に遊びに来るきっかけづくりとなっています。

表彰理由

子育てママのアイデアから実現した「子育て応援コンビニ」のコンセプトショップはこれからの企業のあり方も提示している。子どもの遊び場があったり、一息できるカフェ、また海が見える外のデッキなどにも工夫がみられる。商品構成もベビーグッズや絵本などの品揃えもあり、困ったときに子育て家族はとて助かると思う。子育て応援イベントの企画も親しめる店の活動として評価できる。このような立地にあわせた店舗展開の方法は地域の課題の解決に対しておおいに期待できる。

活動場所 山下公園(中区)

活動団体 ハッピーローソン山下公園店

活動団体ホームページ <http://www3.lawson-miffy.jp/happylawson/index.html>



▲フェリス女学院大学生による店内での食育イベントの様子



▲休憩スペースと大型遊具併設の店舗

鶴見川流域での 清掃・学習・人材育成活動

活動概要

今年で発足20年。鶴見川流域で活動する市民団体と連携。また団体のサポートをしながら、川の清掃活動、川辺の環境保全や子どもを対象とした自然体験型学習支援に取り組んでいます。幅広い活動範囲を維持するため、人材育成にも力を入れています。

表彰理由

流域をバクの形として捉え、任意団体としてスタートして20周年を迎えるこの団体が特に優れているのは、○身近なフィールドと密着した地域団体との連携 ○行政・学校・企業との連携 ○楽しさをちりばめた実践重視の活動 ○分かりやすさの中に環境貢献社会への高いビジョンがあることである。全国の川をフィールドにした活動に強力な波及効果をもたらし続けている功績は横浜市民の誇りのひとつに値する。

活動場所 鶴見川流域全体

活動団体 特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワークング

活動団体ホームページ <http://www.tr-net.gr.jp/>



▲子どもたちの学習支援活動



▲河川敷でのクリーンアップの様子



ストロングビル

概要

横浜ゆかりの建築家である矢部又吉の設計により創建されました。横浜における数少ない戦前のオフィスビルの遺構で、かつて横浜に数多く存在した外国商社の希少な遺構でもあります。造形様式は、シンプルなクラシックと称すべきもので、クラシックなスタイルの最後期の作品。横浜公園からのアイストップとなっていて、都市景観上からも貴重なモニュメントです。

平成19年（2007年）に解体され、平成21年（2009年）に新築ビルの低層部に外観が復元されました。

- 所有者 ストロング・エンド・コンパニー
(ファーイースト)リミテッド
- 設計者・施工者 大和ハウス工業株式会社 横浜支社

講評

横浜公園の向かいという重要なスポットのホテルを主とした再開発。1938年創建の外国商社のファサードが当初材の一部に再利用しながら歴史的に忠実に復元され、長く親しまれたこの場所の景観が保持された。また前面の道路も広げられ、当初のビルの部材がベンチとして置かれるなど、歴史を感じさせる快適な歩道空間となっている。(吉田委員)



所在地 中区山下町204-1

■横浜市認定歴史的建造物

日ノ出スタジオ・黄金スタジオ

概要

【日ノ出スタジオ】 京浜急行高架下の鉄骨造のスタジオ。3つの分棟構成で、棟の間は高架の両側を繋ぐ路地空間となっています。軽量鉄骨とガラスでつくられたスタジオは、ショーケースのように中の様子を街に見せています。スタジオのボリュームに食い込むように、ウッドデッキが張られた屋上通路が巡らされています。

【黄金スタジオ】 京浜急行高架下の木造平屋のスタジオ。構造に荷重を負担させないため、建物と構造は切れています。5つのスタジオが、縁側を介して土間と繋がり、南側は大岡川に面し、ステンレス立てハゼ葺きの外壁。北側は全面木製サッシで開放することができます。

- 事業者 京浜急行電鉄株式会社
- 設計者 【日ノ出スタジオ】横浜国立大学大学院/建築都市スクール Y-GSA 飯田善彦スタジオ、SALHAUS 一級建築士事務所
【黄金スタジオ】神奈川大学曾我部研究室、一級建築士事務所マチデザイン
- 施工者 京急建設株式会社

講評

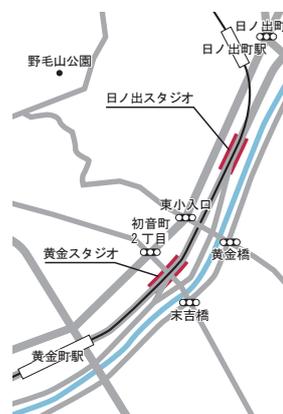
京浜急行の高架線下にはめ込まれたように造られたスタジオ。野毛の街を東西に走る高架線、大岡川に新しい表情の町並みを造り出す事に成功している。アートと芸術による街の浄化を目指して、官民一体となつての町おこしにエールを送り、境界の賑わいを建築の力で取り戻すことに期待したい。(金子委員)



▲日ノ出スタジオ



▲黄金スタジオ



所在地

【日ノ出スタジオ】
中区日ノ出町2-145先

【黄金スタジオ】
中区黄金町2-7先

鶴見川河口干潟「貝殻浜」

概要

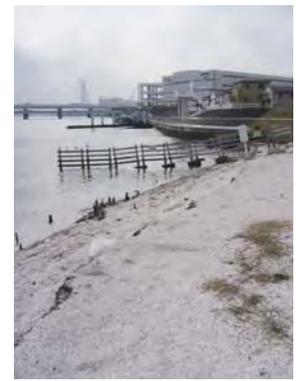
横浜市北東部唯一の干潟で、多くの生き物が生息する貴重な場所。生麦の築堤工事の際に、多くの人々が鶴見川にふれられるよう、この貴重な河口干潟を残しながら親水広場が整備されました。

- 事業者 関東地方整備局京浜河川事務所
- 設計者 株式会社建設環境研究所
- 施工者 工藤建設株式会社、奈良建設株式会社、池田建設株式会社、矢作建設工業株式会社

講評

とても小さい。しかしその小ささが私たちに訴えるものを大きくする。都市に暮らす人間の水辺との付き合いの功罪がここに集約している。忘れてはいけないことを思い出させてくれる。貝殻が砕けて浜となり、生き物が隙間にうごめき、流れが際を震わせる。そうした生き物の営みの時間を感じられる場所こそ、現代人には必要である。(佐々木委員)

所在地 鶴見区生麦5丁目地先



アメリカ山公園

概要

横浜を代表する観光地である元町地区と山手地区とを結ぶ場所に位置する未利用地(国有地)と、隣接するみなとみらい線元町・中華街駅の駅舎を一体的に公園として整備されたものです。公園整備にあたっては、立体都市公園制度という全国初の事業手法を用い、回遊導線の改善のために元町・中華街駅の駅舎の増改築部分にエレベーター・エスカレーターによるバリアフリー導線が整備されるとともに、園地には元町・山手地区の景観に調和した施設整備が行われました。

- 設計者 創和エクステリヤ株式会社、横浜高速鉄道株式会社、株式会社山手総合計画研究所(設計協力)
- 施工者 株式会社アイビー・ガーデン、株式会社田澤園、横浜高速鉄道株式会社

講評

こじんまりしていきつつろぎのある公園です。横浜市の花である薔薇が、植栽の中心や各所のモチーフとして使われ、華やぎをかもしだしています。

古い横濱写真や絵地図を使った案内板もスマートです。なにより、この公園ができたおかげで横浜地方気象台、外国人墓地、港の見える丘公園がひとつなぎになりました。(山崎委員)



所在地 中区山手町97-1

はまみらいウォーク

概要

横浜駅東口地区とみなとみらい21中央地区を連絡する歩行者専用デッキで、横浜駅からの新たな玄関口となります。本デッキにより横浜駅方面からの基幹的な歩行者軸が形成されることになるとともに海を望める開放感のあるデザインとしています。

- 設計者 大日本コンサルタント株式会社
- 施工者 下部工：鹿島・イワキ建設共同企業体
上部工：株式会社横河ブリッジ
シェルター工：坪井工業株式会社
照明工：向洋電機土木株式会社
橋面工：株式会社テクノジャパン

講評

高層ビルに挟まれた水辺は時に哀れな溝のように見える。しかしここでは、運河を跨ぐ歩道橋が、都市の谷間を水平と垂直を巧みにバランスさせた立体的な空中歩行を楽しむ場に変えている。緩やかな曲線の屋根は居心地を高めるだけでなく、視線をも誘う。あらゆる方向からの視線を意識したディテールの完成度にも拍手。(佐々木委員)

所在地 西区高島2丁目～1丁目



元町ペットバー

概要

きっかけは出張先のニューヨークで見かけたペット用の水のみ場。ペットと共存することが当たり前になるような、そんな街にしたいとの思いから設置された施設で、お客様も犬も大事にしたいというメッセージがこめられています。スタージュエリー本店の施設は既に二代目で、街を訪れる人達がコミュニケーションを深めるきっかけにもなっています。

- 施設設置者 株式会社スタージュエリー、株式会社キタムラ

講評

元町商店街にある3か所のペットバー。単なる水飲み場ではなく、店舗のファサードや柱と一体化してデザインされていて、元町という街のゆとりと遊び心が感じられます。ペットを連れた街歩きの人たちがペットバーで一休みしている風景は、元町らしいしゃれた街並みの一つです。(篠崎委員)

所在地 中区元町1-24



▲キタムラ



▲スタージュエリー

第1回 (2000年) 横浜・人・まち・デザイン賞 表彰



地域まちづくり部門



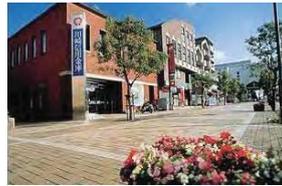
環境エネルギー館の整備・運営



横浜駅西口振興活動



都心部を中心とした歴史を生かしたまちづくり啓発活動



仲町台駅周辺まちづくり活動



横浜駅西口駅前再開発事業



元町仲通りまちづくり活動

まちなみ景観部門



横浜ワールドポーターズ、ナビオス横浜と運河パーク



山手111番館とローズガーデン



洗手亭



大原隧道

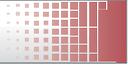


横浜ベイサイドマリナー



富岡川せせらぎ緑道

第2回 (2002年) 横浜・人・まち・デザイン賞 表彰



地域まちづくり部門



鶴見西口オープンカフェの運営



横浜弘明寺商店街のまちづくり活動



新横浜町内会のまちづくり活動



モザイクモール港北の建設と運営



都筑民家園を巡る活動

まちなみ景観部門



カトリック横浜司教館



横浜情報文化センターと横浜地方・簡易裁判所



グランノア港北の丘



辺刈橋下流の水辺拠点



中丸家長屋門とその周辺

第3回 (2004年) 横浜・人・まち・デザイン賞 表彰

地域まちづくり部門



自然を生かした公園での
プレイパーク運営



商店街の空き店舗活用による
地域コミュニティ活動



横浜自然観察の森の
案内・調査・環境管理活動



東神奈川駅東口地区
市街地再開発事業の実現



旭ジャズまつりの企画・運営



都市防災の研究・提言・知識の
普及活動

まちなみ景観部門



日産自動車横浜工場
ゲストホール・エンジン博物館



日本郵船歴史博物館



フェリス学院
中学校・高等学校1号館



天王森泉公園



横浜港大さん橋国際客船ターミナル



馬車道のカス灯



マーマシのはら保育園

第4回 (2009年) 横浜・人・まち・デザイン賞 表彰

地域まちづくり部門



まちづくりのルールを作成



災害に強いまちづくり



障害者が生活しやすい環境づくり



みんなに愛されるストリート



まちづくりの交流・情報発信拠点



いきいき、楽しく環境活動

まちなみ景観部門



旧バーナード邸



二代目横浜駅遺構
(ロワール横浜レムナンツ)



ZAIM(ザイム)



横浜媽祖廟



荒井沢市民の森



日本大通りとオープンカフェ